

# 内藤通信



令和3年 第2回・第4回定例会  
令和2年度 決算等審査特別委員会  
(第1分科会)

- 学校におけるいじめ問題について
- マイタイムラインについて
- 秋保の今後の観光について

発行者 | 内藤良介  
〒981-1105 仙台市太白区西中田5-7-8-202  
TEL 022-242-0286

## 太白区にお住まいの皆様方へ

早春の候益々ご健勝の事と存じます。皆様方には大変お世話になっており心より感謝申し上げます。

さて、太白団地の大きな問題の一つである根上がりは10年以上も前から悪化しておりまったく対応がなされず、私は市議会議員にさせて頂いてからこの問題解決に向け活動をして参りました。先日10月上旬にやっと交差点の横断歩道の場所を改善して頂きました。まだまだ危険な箇所も多くございます。仙台市にも他の箇所の改善もお願いをしているところですが、予算の関係もあり、一度にすべての対応は難しいとの事ではあります。引き続き状態の悪いところから継続して改善して頂ける事になりました。まだまだすべての改善には時間は掛かると思いますが、多くの町内の皆様が利用される歩道ですので、しっかりと根上がりの改善に努めて頂くようお願いをしております。

さらに、太白団地の大きな問題の一つに、2丁目の市営アパートの裏にある高速道路との間に多くの不法投棄がございました。私も長年住んでおりましたが、町内の方から教えて頂き、その状況を確認しました。今年の春先から撤去もして頂いているところではありましたが、まだ完全に撤去が終わっているわけではありませんが、これから冬にかけてすべての撤去をして頂ける事になっております。また、今後不法投棄がなされないように現在は看板を設置して頂きましたが、今後も不法投棄が無くならない時には、防犯カメラの設置も検討して頂きます。

引き続き地域の皆様方の声を聞かせて頂きながら活動して参りますのでご意見・ご要望等ございましたら下記にご記入いただきFAXにてお送り頂ければ幸いです。今後ともご指導・ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

令和3年3月吉日  
仙台市議会議員 内藤 良介

皆様のお声を頂き、問題の改善を進めています。

### Case 1

仙台市の大きな問題の一つである根上がりは10年以上も前から悪化しておりまったく対応がなされていませんでしたが、昨年10月上旬に交差点の横断歩道を改善して頂きました。引き続き状態の悪いところから改善して頂けることになっております。



### Case 2

市営アパート裏に多くの不法投棄がございました。撤去作業を進めて頂いており、冬中に全ての撤去を予定しております。また、今後の防止策として看板を設置して頂きましたが、それでも無くならない時には防犯カメラの設置も検討して参ります。



ご意見・ご要望がありましたら  
FAX.022-242-0286 までお送りください。



学校におけるいじめ問題について



いじめや不登校はなかなか減っていないのが現状で、今までと違う対策の検討も必要ではないでしょうか？

未然防止に向けました各種施策の効果も見ながら、着実に歩みを進めていかなければならないと考えております。

仙台市



道徳は誰にどう教わったのが大事なのではなく、どこで誰に教わっても同じものでなければなりません。全学校で授業参観にて親と子が道徳を学んでいただくことがいじめ問題の解決につながると思います。

保護者や地域の方が授業を参観し、道徳について児童生徒と一緒に考えることは大きな意義があると考えております。

仙台市



教職員になってすぐに担任を持ちながら、教職員としての研修を受けています。このことが、現在の教職員の負担にもつながっているのではないかと考えます。新人の教職員がもっと研修などに専念できるよう、他の政令市に先駆けて副担任制にすることはいかがでしょうか。

人の研修時間の確保や負担の軽減につながり得るものとは捉えておりますが、その一方で、教員のモチベーションへの影響のほか、市費単独で相当数の教員を増員しなければならないことなど、導入に当たっては慎重な検討が必要であろうと考えております。

仙台市

防災教育について



子どもがしっかりと避難ができるようにするために、仙台防災未来フォーラムで行われたゲーム等により遊びながらしっかりと防災の事を学べるものを、ぜひ本市にある全市立小学校で行うことはできないでしょうか。

教育局と協議を行いまして、防災教育を実践していく上で参考となるように出前授業の実施について御紹介をする通知を全ての仙台市立の小中学校に送付致しましたが、本年度中、今のところ実施には至っていないものでございます。

仙台市



小学校における防災訓練についても、昔と変わらぬやり方で子供達に本当に防災の知識が身につくのか疑問です。先程のゲーム等で遊びながらしっかりと学んだ後に避難行動を実際に行った方がより学びになると思います。

防災教育の重要性というものについては、各学校とも認識を共有されていると考えてございますが、各学校におけるカリキュラムや教材、予算は前年度に大部分が計画されてしまうことから、すぐには対応できない面があったものと認識をしております。

仙台市



予算の問題が課題になっているかと思いますが、ゲーム等をアプリ化する、人件費も外部にお願いするのではなく本市の方で対応するなど費用を削減できるのではないかと思います。例えばスタッフは教育実習生にお願いするなどはできないでしょうか？

効果的な学習が図られますよう、学校等の状況やニーズも踏まえながら、教育局等と引き続き連携して取り組んでまいりたいと考えてございます。

仙台市



子どもたちが楽しみながら災害時に取るべき行動を学ぶことは非常に重要だと私は考えます。ぜひ、様々な工夫をすべきですが、当局のご所見を伺います。

子供たちが楽しみながら防災を学べるということは、子供へのプラスの効果のみならず、親世代にも影響をもたらす効果が期待でき、大変重要な取組であると認識をしております。

仙台市

秋保の今後の観光について



私は、今後秋保の観光の後押しをするイベントも必要であると考えます。二口林道開通にともなった自転車イベントを開催してはいかがでしょうか

サイクリングについてはこれまでも西部地区におけるサイクルツーリズムの促進に努めているところです。

仙台市



また、イースポーツを是非本市に誘致することが交流人口の拡大につながっていく事になるのではないかと考えます。

様々なイベントの開催は、一過性で終わらないように地域の関係者やイベント事業者の方々と意見交換しながら実施の可能性を探って参ります。

仙台市

本市の観光地でもある秋保温泉でこのようなイベントを行う事により、交流人口の拡大だけでなく、聖地と呼ばれるように他都市とはまた違う形でイベントを行う事が結果秋保に新たな世代等が訪れて頂けるきっかけになるのではないかと考えます。

災害対策を兼ねた観光用アプリの開発について



仙台市における観光のPRについて、独自の観光用アプリを開発することが必要ではないかと考えます。



この観光客用アプリを市民に皆様に使っていただくことで、多くの場所を楽しんでいただけるだけでなく、ご意見やご要望をいただけるきっかけになり、市民の声が反映されるより良い観光地になると思います。



さらに、このアプリに災害が発災した時の避難経路等の様々な情報が分かるようにしておくことで、観光中に災害が発災しても、安全を確保出来るようにすることで観光客だけではなく、市民の皆様の安心・安全につながると考えます。

観光用アプリは位置情報と観光情報を組み合わせて発信できるなど、有効なツールであると認識しておりますが、まずはより簡単に情報にアクセスしていただけるよう、観光情報ウェブサイトせんだい旅日和を中心に情報発信を行なっているところでございます。

このウェブサイト以外にもツイッターやフェイスブックなどのSNSも活用しており、今後もさらなる動画の活用など様々な情報発信の手法について検討してまいります。また、災害時の観光客への情報の提供については、せんだい旅日和に防災・緊急情報発信や避難情報ウェブサイトへのリンクを貼るなど、必要な情報が入手しやすくなるよう工夫をしてみたいと存じます。

仙台市

仙台市

こちらから仙台市議会の  
中継動画をご覧いただけます

内藤りょうすけ  
一般質問



仙台市議会  
インターネット  
議会中継

